

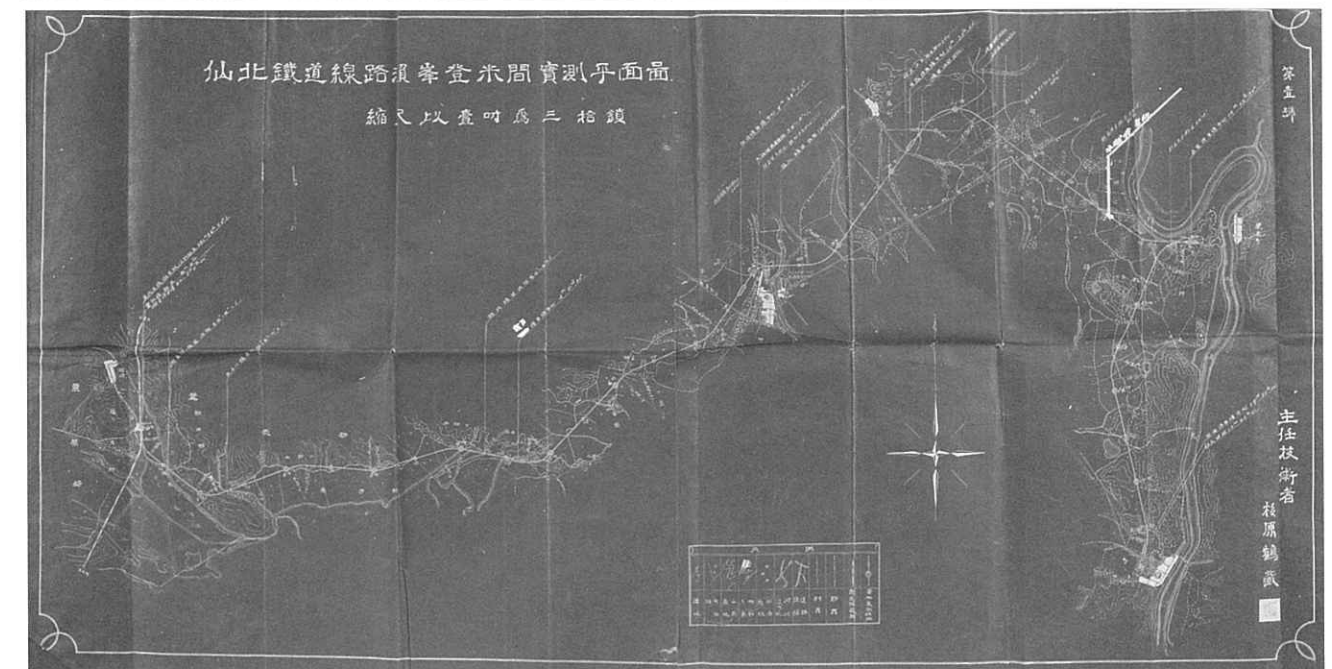
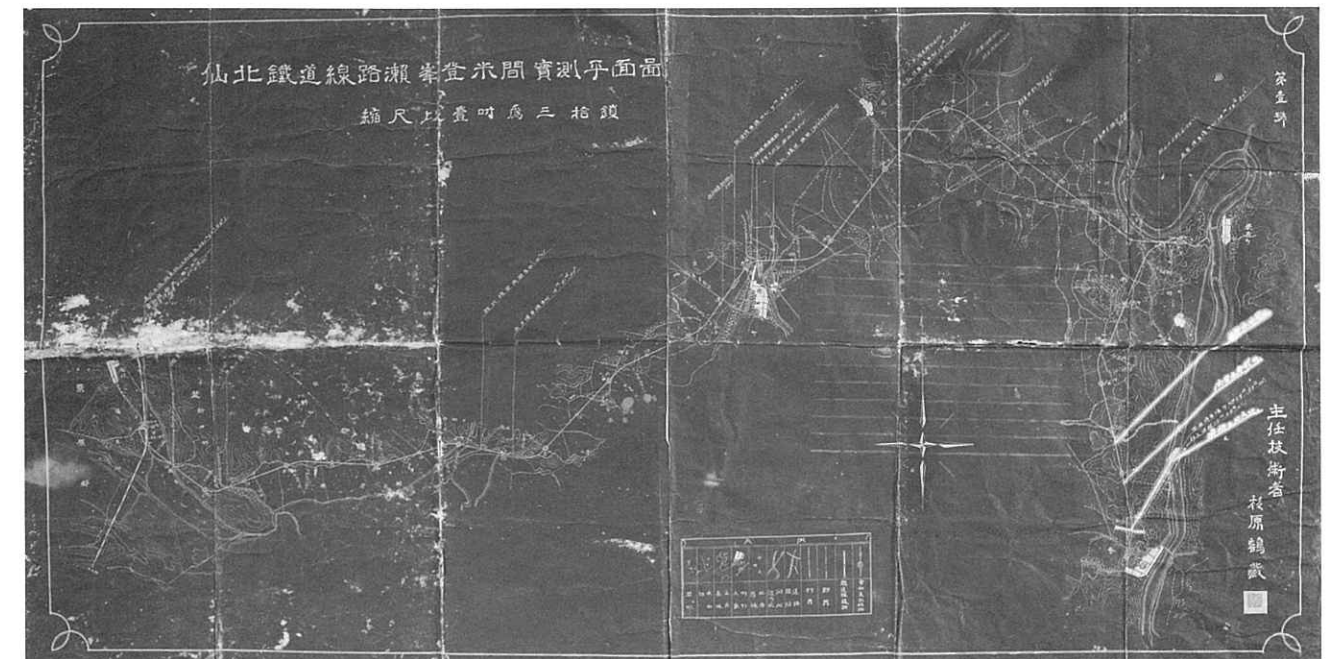
登米軽便鉄道（仙北鉄道）発起人にみる仙北軽便鉄道・三陸軽便鉄道発起人重複状況

NO	名前	出身	仙軽	三軽	NO	名前	出身	仙軽	三軽	NO	名前	出身	仙軽	三軽
1	荒井 泰治	仙台市	○		62	海老名 太平	登米郡登米町			123	福島 与惣五郎	仙台市		
2	佐藤 甚九郎	登米郡米谷町	○		63	児玉 篤治郎	登米郡登米町			124	若生 倉造	仙台市		
3	山田 義三郎	登米郡登米町	○		64	高橋 平治郎	登米郡登米町	○		125	鈴木 重兵衛	仙台市		
4	佐藤 幸三郎	登米郡佐沼町			65	伊達 寧裕	登米郡登米町			126	中村 梅三	仙台市		
5	佐藤 慶三郎	登米郡佐沼町			66	大槻 銀平	登米郡登米町			127	佐藤 二郎	仙台市		
6	北浦 良治	登米郡佐沼町			67	吉田 常治	登米郡登米町			128	大泉 梅治郎	仙台市		
7	門脇 兵之助	登米郡佐沼町			68	佐藤 三郎	登米郡登米町			129	新妻 鳳嘉	仙台市		
8	泉 松治郎	登米郡佐沼町			69	菅野 勝三郎	登米郡登米町			130	水野 時四郎	仙台市		
9	佐々木 寿平	登米郡佐沼町	○		70	福島 重兵衛	登米郡登米町			131	泉 謙吉	仙台市		
10	山口 常三郎	登米郡佐沼町	○		71	瀬上 長七	登米郡登米町			132	国分 虎四郎	仙台市		
11	佐藤 鉄郎	登米郡佐沼町	○		72	阿部 清八	登米郡登米町			133	伊藤 庄吉	仙台市		
12	宇藤 要七郎	登米郡佐沼町			73	海老名 保治郎	登米郡登米町			134	保原 千代吉	仙台市		
13	遊佐 新治郎	登米郡佐沼町	○		74	川村 直助	登米郡登米町			135	大泉 林之丞	仙台市		
14	佐藤 源治	登米郡佐沼町	○		75	片平 繁人	登米郡登米町			136	小原 祐	仙台市		
15	目々澤 新之丞	登米郡佐沼町			76	海老名 敬助	登米郡登米町	○		137	佐藤 栄三郎	仙台市		
16	小竹 半五郎	登米郡佐沼町			77	山崎 喜蔵	登米郡登米町			138	高橋 喜右衛門	仙台市		
17	氏家 庄治郎	登米郡佐沼町			78	菊地 長七	登米郡登米町	○		139	佐藤 助五郎	仙台市		
18	高橋 周治	登米郡佐沼町			79	畠山 藤三郎	登米郡登米町			140	鶴田 桃亥	仙台市		
19	太田 林太郎	登米郡佐沼町			80	佐々木 喜左衛門	登米郡登米町			141	丹野 英清	仙台市	○	
20	今川 彦太郎	登米郡米山村			81	西條 繁三郎	登米郡登米町			142	大石 倫治	仙台市		
21	小沢 利貞	登米郡米山村			82	河内 喜作	登米郡登米町			143	鈴木 立春	仙台市		
22	伊藤 三郎	登米郡石越村	○		83	伊藤 新四郎	登米郡登米町			144	那須 順三郎	仙台市		
23	小野寺 清三郎	登米郡石越村	○		84	千葉 喜兵衛	登米郡登米町			145	佐藤 徳弥	仙台市		
24	小野寺 延平	登米郡石越村			85	桑原 保兵衛	登米郡登米町			146	藤田 茂	仙台市		
25	八嶋 九早	登米郡石越村			86	伊藤 慶治	登米郡登米町			147	高橋 幾三郎	仙台市		
26	佐藤 喜平治	登米郡石越村			87	菊地 文治郎	登米郡登米町			148	江刺 富治郎	仙台市		
27	小野寺 八右衛門	登米郡石越村			88	佐々木 三治郎	登米郡登米町			149	松山 市兵衛	本吉郡気仙沼町		
28	岩淵 貞三郎	登米郡石越村			89	須藤 俊治郎	登米郡登米町			150	木村 貫一	牡鹿郡石巻町		
29	大石 萬四郎	登米郡石越村			90	沼倉 正兵衛	登米郡登米町			151	佐々木 栄介	遠田郡田尻町		
30	渡辺 硬	登米郡浅水村			91	伊藤 祐弥	登米郡登米町			152	大川 松之進	遠田郡寛岳村		
31	岩淵 良平	登米郡浅水村			92	冥賀 栄之助	登米郡登米町			153	横山 万平	遠田郡涌谷町	○	
32	伊藤 ヨノ	登米郡浅水村			93	鈴木 彦治	登米郡登米町			154	安住 仁次郎	遠田郡南郷村	○	
33	及川 栄之丞	登米郡米川村			94	大槻 茂	登米郡登米町	○		155	伊藤 源左衛門	遠田郡南郷村		
34	丸森 源三郎	登米郡米川村			95	二木 茂平	登米郡石森町	○		156	相沢 愛之助	志田郡松山町		
35	佐藤 武治	登米郡上沼村			96	伊東 慎敬	登米郡石森町			157	中村 綱吉	宮城郡松島町		
36	小出 彦十郎	登米郡米谷町			97	熊谷 誠一	登米郡石森町			158	松本 健吉	亶理郡亶理町		
37	大場 弥一郎	登米郡米谷町			98	氏家 孫助	登米郡石森町			159	山田 周吉	亶理郡亶理町		
38	飯塚 栄一	登米郡米谷町			99	大石 栄三郎	登米郡石森町			160	武田 吉平	亶理郡亶理町		
39	加藤 卯吉	登米郡米谷町			100	伊東 新八郎	登米郡石森町			161	大沼 金治	柴田郡槻木町		
40	熊谷 直夫	登米郡米谷町			101	森 亀治	登米郡石森町			162	鈴木 清之輔	刈田郡白石町		
41	猪股 東三郎	登米郡米谷町			102	麻喜 隈雄	登米郡石森町			163	竹谷 源平	伊具郡角田町		
42	渋谷 善吉	登米郡南方村			103	日野 忠三郎	登米郡石森町			164	蔵本 堯	登米郡登米町		
43	高橋 良作	登米郡南方村			104	山内 善三郎	登米郡石森町			165	菊田 彦六郎	登米郡登米町		
44	高橋 源三郎	登米郡南方村			105	菅原 健助	登米郡石森町			166	武藤 清作	登米郡登米町		
45	佐藤 誠記	登米郡南方村			106	熊谷 良吉	登米郡石森町			167	盛 進	登米郡佐沼町		
46	嶽内 恭善	登米郡南方村			107	工藤 養八	登米郡石森町			168	狩野 源助	登米郡佐沼町	○	
47	伊藤 彦四郎	登米郡南方村			108	伊藤 音之助	登米郡石森町			169	泉 三郎	登米郡佐沼町		
48	遠藤 伝之丞	登米郡南方村	○		109	麻喜 徳之	登米郡石森町			170	佐藤 秀治郎	登米郡佐沼町	○	
49	鈴木 専治	登米郡南方村			110	清水 金太郎	登米郡石森町			171	佐々木 仲	登米郡佐沼町		
50	後藤 健吉	登米郡南方村			111	万里崎 得一	登米郡石森町			172	中津川 勘吉	登米郡佐沼町		
51	阿部 卯右衛門	登米郡南方村	○		112	阿部 幸吉	登米郡石森町			173	高橋 政七郎	登米郡佐沼町		
52	亀井 和蔵	登米郡南方村			113	藤崎 三郎助	仙台市	○		174	太田 久四郎	登米郡佐沼町		○
53	阿部 仲太郎	登米郡南方村			114	八木 久兵衛	仙台市	○		175	星 康平	登米郡佐沼町	○	○
54	佐藤 成幸	登米郡南方村			115	伊沢 平左衛門	仙台市	○		176	佐々木 久治	登米郡佐沼町		
55	北川 文三郎	登米郡宝江村			116	岩崎 総十郎	仙台市			177	佐藤 秀平	登米郡佐沼町		
56	桜井 良之助	登米郡登米町	○		117	清野 喜平治	仙台市			178	鈴木 壯助	登米郡佐沼町		
57	山田 泰七	登米郡登米町	○		118	山田 久右衛門	仙台市			179	佐々木 利一郎	登米郡佐沼町		
58	大槻 令治	登米郡登米町			119	佐久間 俊一	仙台市			180	嶺村 俊平	登米郡佐沼町		
59	山田 武四郎	登米郡登米町			120	佐々木 重兵衛	仙台市	○		181	安倍 寛平	登米郡米谷町		
60	菅野 常吉	登米郡登米町	○		121	大塚 民三郎	仙台市			182	沼田 忠太郎	登米郡米谷町		
61	新妻 三郎	登米郡登米町			122	谷井 文蔵	仙台市	○		183	伊藤 弥惣兵衛	登米郡米谷町		

ゴシック体：一次発起人 明朝体：二次発起人 名前白抜：期成同盟会役員（常務委員以上）

第4章 仙北鉄道登米線全線開通

会社の創立からわずか5日後、大正8年（1919）4月5日から測量調査が開始された。測量は6月30日に終了し、調整を重ねながら路線及び各停車場の位置も決定した。9月2日に工事施行認可申請を提出、12月17日に工事施行認可を得ることができた。大正9年（1920）2月1日から工事に着手し、瀬峰・佐沼間を第I工区、佐沼・登米間を第II工区とした。当初は大正10年（1921）3月1日からの営業開始を見込んでいたが、雨量の増加による土砂の流出などが相次ぎ、工事は遅延した。第I工区は大正10年（1921）7月5日から営業開始となったものの、第II工区は軍場山などの岩盤掘削工事に時間がかかったため、さらに遅れて10月5日営業開始となり、ついに仙北鉄道登米線が全線開通となった。開通式は10月10日に実施され、10日から12日までの3日間は、登米町において盛大なお祭りが開催された。



30・31 仙北鉄道線路瀬峰登米間実測平面図

大正8年（1919）9月2日以前
（上）登米伊達文庫蔵・（下）館蔵

仙北鉄道登米線の実測平面図。登米伊達文庫所蔵の平面図は南方駅の名前が高石駅へ修正されておらず、申請書の提出まで数度の修正が行われたことが伺える。

第5章 『仙北鉄道開通記念写真帳』について

1 はじめに

令和2年(2020)、当館に1冊の写真帳が寄贈された。

大正10年(1921)の仙北鉄道前線開通を記念して、登米町で開催された祭典の様子をまとめたものである。紙面の制約もあるが、ここでは写真帳の内容を紹介していきたい。

2 資料の状態について

資料の大きさは縦17.8cm、横25.5cmの横版で、右側2ヶ所を平紐で綴じている。表表紙は写真台紙より厚く、裏表紙は欠損している。写真は16枚の台紙片面に印刷されており、1枚に2カット、全32点の写真が掲載されている。

3 内容紹介

【1頁】登米町ステーション 大手前停車場通り

左上に登米停車場の遠景、右下に三日町の交差点付近に設置された花門から登米停車場に続く風景が収められている。登米停車場は、登米線終着駅として整備され、一時本社が置かれていた。廃線後はバス停留所として利用されていたが、平成19年に解体された。

【2頁】連合競馬会会場 登米郡青年団連合大運動会会場

左上に馬に騎乗する人々とそれを取り囲み見物する人々、右下に日章旗を掲げた人を先頭に整列する人々が収められている。大正10年度登米尋常高等小学校日誌には、同校の校庭を会場に10月11日に運動会、12日に競馬会が開催されている。

【3頁】町内装飾(三日町)花門 (三日町)伊達宗直公銅像

左に三日町の交差点付近に設置された花門前に集合した人々、右に登米伊達家初代宗直甲冑像の前に整列する角帽・法被姿の人々が収められている。宗直像の前に整列する人々は、個人蔵「仙北鉄道開業記念祭典写真」にも同様の構図が見られる。

【4頁】(三日町)町内装飾遠望 鈴彦商店喫茶所(三日町)

上に三日町の装飾と行き交う人々、下に鈴彦商店が出店した喫茶所に集う人々が収められている。上の写真では道路左側に山田醤油店の店舗と醤油樽を重ねて作った装飾門が見られる。

【5頁】町内装飾(荒町)土農工商始ノ体八木節 (三日町)日新館支店前

左に「土農工商始ノ体」の山車飾りと、その下で八木節の衣装を纏った人々など、右に装飾された日新館支店前でポーズを決める人々が収められている。日新館支店前の写真には、仙北鉄道各駅の時刻表が記された柱が立っている。

【6頁】町内装飾 荒町通り カ士女相撲土俵入ズンク(荒町連)

左上に半円の門を形作り、その下に日本国旗を交差した荒町通りが、右下には神社の境内で化粧まわしを締め、力士に扮した女性たちが収められている。化粧まわしには「祝」、「開」、「通」、「岩井川」といった文字や屋号が刺繍されている。

【7頁】九日町装飾 山前通 九日町鉄橋

左上に酒造業を行っていた角山の商号「山」の装飾看板をはじめとした九日町の装飾風景、右下に鉄橋の模型を渡し、その前で集まる人々を収めている。右下の写真を拡大すると、鉄橋の奥に「山」の装飾看板が確認され、両写真は近接した位置にあると考えられる。

【8頁】九日町山田本店銀行前 (九日町)山田醤油店製装飾門

右上に山田醤油店で作製した装飾門、左下に山田本店通りの装飾が収められている。写真にある山田本店の建物は、現在、ヤマカノ醸造株式会社所有となり、令和3年2月4日に登録有形文化財に登録された。

【9頁】三等賞(子は宝)九日町連衣装 町内装飾(九日町通り)

左上に洋服店前に九日町の仮装した人々が並び、右下に装飾された九日町通りの賑わいが収められている。

【10頁】二等賞 万歳装飾行列(中町連) 町内装飾(仲町)

左上に登米尋常高等小学校敷地内で並ぶ仮装した中町の人々、右下に装飾された仲(中)町の様子が収められている。

【11頁】(仲町)桜井醤油店小売部前 町内装飾(仲町)二宮金次郎ノ体

左に仲(中)町の桜井醤油店小売部前で記念撮影を行う人々、右に仲(中)町に設置された山車飾りが収められている。店内にある樽には桜マークが施されており、「さくら醤油」として販売されていたと考えられる。

【12頁】(下町)菅常自転車店余興手踊 (仲町)八木節踊

左上に菅常自転車店の余興手踊、右下に仲(中)町で実施した八木節踊が収められている。右写真の舞台奥には「二等賞」の文字があり、10月10日に行われた仮装行列で入賞したことを示すものと考えられる。

【13頁】町内装飾 仲町通り (仲町)佐久間商店前

右上に佐久間保商店前で記念撮影を行う人々、左下に仲町通りの佐久間保商店、桜井醤油店小売部、阿部薬局店舗の前と舞台上で記念撮影を行う人々が収められている。舞台の飾りつけを見ると、12頁右下の写真と同様であることから、撮影場所が特定できる。

【14頁】特等賞(オマイトナラバ)製糸場連 町内装飾(金谷町)花咲翁

右上に金谷町が製作した「花咲翁」の山車飾りとその前に登米名産の松笠風鈴の仮装をした人々(荒町青年団)、左下に登米尋常高等小学校敷地名で記念撮影を行う製糸場連の人々が収められている。製糸場は明治33年(1900)山田義三郎により創業されたものである。

【15頁】大手会 無料喫茶店 松笠風鈴 荒町青年団

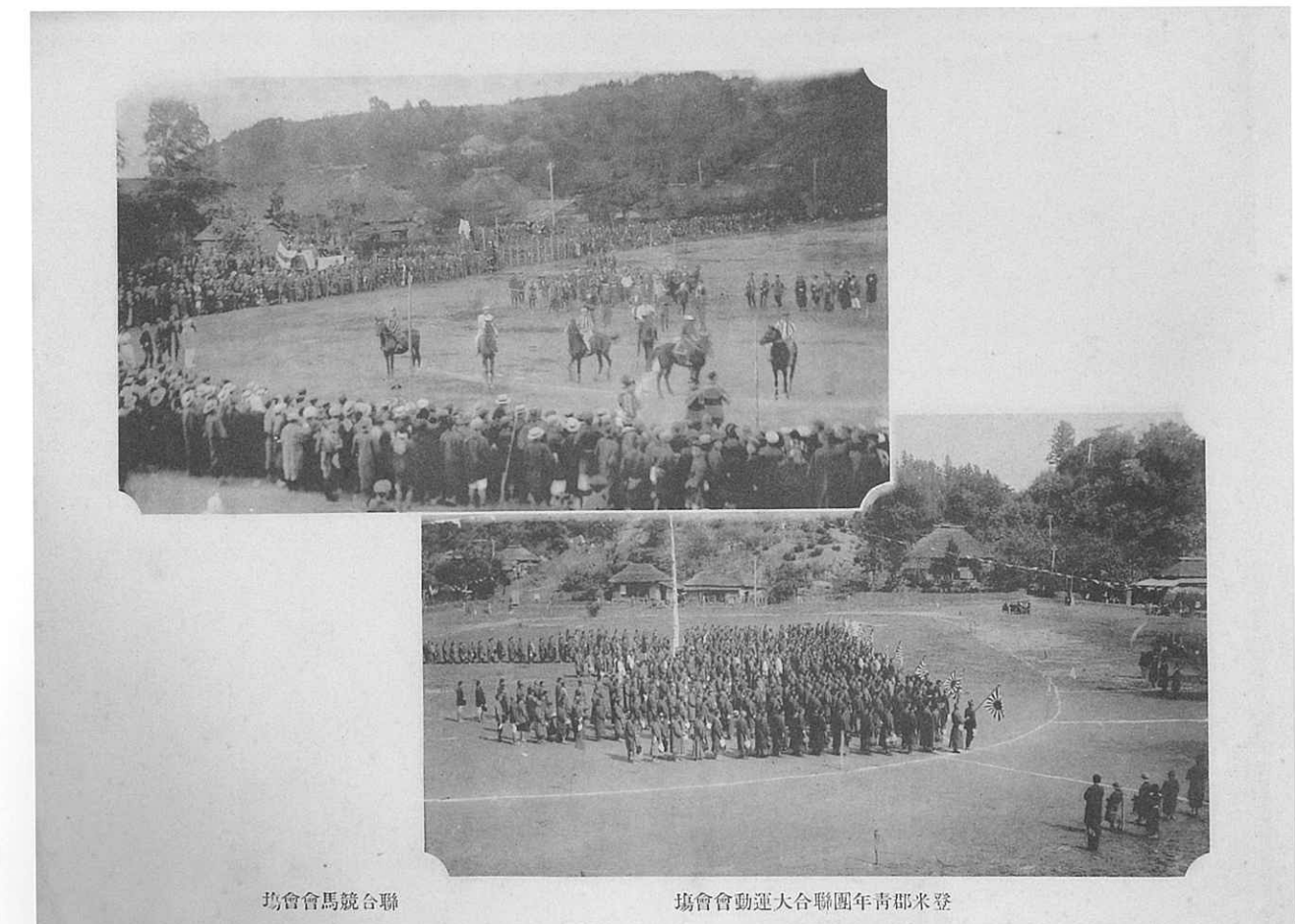
右上に金谷町にある松笠風鈴の店先で松笠風鈴の仮装をした荒町青年団、左下に自らが営む無料喫茶所の前で記念撮影を行う大手前会の人々が収められている。写真の見出しには「大手会」とあるが、人々が着用している法被には「大手前会」となっており、「大手前会」が正しいと考えられる。

【16頁】御敬白(新町連) 警世風刺 一等賞(同級会連)

左上に登米尋常高等小学校敷地内で撮影を行う仮装をした新町連の人々、右下に同じく登米尋常高等小学校敷地内で撮影を行う仮装をした同級会連の人々が収められている。なお、個人が所蔵している「警世風刺」写真があり(資料48)、その写真は登米町渡辺写真館の台紙に張られている。このことから、この写真帳の作成に同写真館が関与していることが、予想される。ただし、写真帳の写真全てが同写真館のものかは不明である。



1頁 (左上) 登米町ステーション (右下) 大手前停車場大通り



2頁 (左上) 連合競馬会会場 (右下) 登米郡青年団連合大運動会会場